

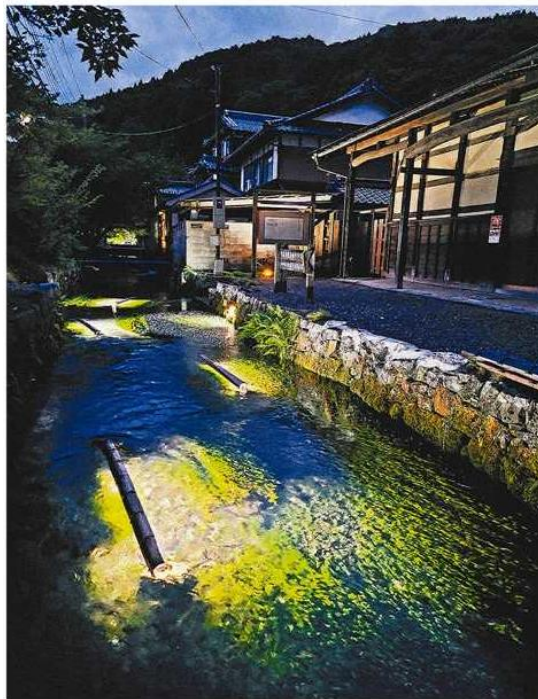


地区を流れる地蔵川は醒井の地名の由来ともなった「居醒の清水」を源流とする小さな川で、平成の名水

米原市の醒井は清流・地蔵川が流れる美しい町で、かつては中山道61番目の宿場・醒井宿として栄えました。江戸時代からその姿を残す問屋場をはじめ、しょうゆや和菓子を作る老舗、旅籠をリノベーションしたゲストハウスなどが立ち並び、今も当時の宿場町の風情を感じることが出来ます。

■ 醒井宿の地蔵川（米原市）

涼を満喫 梅花藻が見頃



①ライトアップされる地蔵川
②かれんな花を咲かせる梅花藻
＝いずれも米原市醒井で



100選にも選ばれていますが、貴重な淡水魚である「ハリヨ」や水温14度前後の清流でしか育たない「バヤカモ（梅花藻）」が生育する場所としても知られ、見頃の夏には毎年多くの観光客でにぎわいます。

梅花藻はキンポウゲ科の水中藻で、梅の花に似た小さな白い花を咲かせることから名付けられました。5月中旬頃から小さな花が咲き始め、盛夏に向かってその数が増えていきます。見頃は7月初旬から9月中旬まで。たくさんのきれいな花が水中から川面に顔を出す姿に心癒やされます。

晩夏には、川沿いに咲くサルスベリ（百日紅）の花びらが落下し、梅花藻の白い花と百日紅のピンクの花びらで彩られた美しい姿を楽しむこともできます。

24日まで、地蔵川では見頃を迎えた梅花藻の美しい姿を夜もご覧いただけるようライトアップを実施しています。梅花藻が群生しているスポットや源流・居醒の清水などが幻想的な光に包まれます。

23、24の両日は醒井地蔵盆に合わせて「醒井地蔵まつり」も開催されます。一つの石から作られた地蔵像としては県内最大級のお地蔵様の御開帳や住民が手作りする伝統のつくりものが展示され、夜店、万灯流しなどでにぎわいます。

暑い夏、日中も夜も涼やかな醒井宿の梅花藻で癒やしのひと時を過ごしませんか。

（びわ湖の素DMO・山田悠希）

【アクセス情報】醒井宿へはJR醒井駅から徒歩10分、北陸自動車道米原インターチェンジ（IC）から10分、醒井駅前駐車場有。梅花藻は周辺住民の迷惑とならないよう静かに観賞してください。できる限り公共交通機関でお越しください。②びわ湖の素DMO 0749（51）9082

これまでの「しが旅のススメ」はこちら

